京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

●清涼飲料の飲用に付

銀水生

京城本年の夏は兩三年の夏に比し頗る天候不順且蒸し熱い樣である此の際衛生に注意を拂はねば恐るべき病魔の冒す所となるであらう予は玆に時節柄先づ清涼飲料の飲用に付注意すべき點を紹介して置かうと思ふ昨今市中の飲食店及氷店で店頭に飾つて置くのはラムチサイダー氷等で密柑水もポツ〳〵見ゆるやうであるが之れ等の飲料は何れも衛生警察の取締を受け居るけれども飲用者にあつても注意をするに越た事はないラムチもサイダーも其製造の上に於ては殆んど大差なく其加味分量に多少異れる點あるのみであるさて市場の相場は殆んどサイダはラムチの倍價以上を占め其賣高も多く社會の需要夥しき所から頭から上等の飲料と信じて居るものが多いらしい併し飲む時に其の現品の良否に注意するが肝要である、サイダであるから必ずしも其品質精良なりとは云へぬサイダでもラムチでも飲用の際には手に取りて振盪し罎中を透かして兒液体中に塵芥を含み居らざるか又混濁しあらざるかを注意しなければならぬ若し初め瓶底に沈澱物等あるを認めたる時は勿論飲料に適せざるものとして可い世間往々製造月日に重きを置くものあれども元來ラムチ、サイダ等は其貯蓄の宜しきを得ば十日や廿日にて腐敗するものではない冷闇なる室に貯へたならば一年位は大丈夫である之を日光の注射する店前に置くが故に腐敗の時機を早めるのである封緘の如きものに取扱中破損し又は水中に冷やす時剝ぎ取れる事數々あるものなれば封緘なりとも彼の酒類に用ひある封皮の如きものと同一に見るべきものでない、其口栓の完全なる爲め受賣店にて勝手に罎中の水を增減し得らるべきものではない

氷を飲用する事は個衛生の幼稚なるを證明して居るのである併し炎天に燒かれた時一碗の氷は實に以て身心を消爽ならしむるが其代り夫れ丈け胃腸を害する譯である胃腸の健康なる人は左程直接に害を蒙らずけれども親達が飲用すると乾度子供達が欲がるから寧ろ僅の手數を厭はずに麥湯の冷したのを用意し置くのが經濟上よりも利益である殊に當地の氷は悉く天然氷であるから塵芥其他不潔物の混有せるあり身体を冷かならしむる爲めとあらば皮膚を拭ふに如かずである

俳句

●日●曜●吟●　龍山すみれ會

振袖にあふられて飛ぶほたる哉　六坊
人聲の絕へて土ばしを飛ぶ螢　中庸
螢火の居並ぶ岸や夜のふかみ　同
螢の籠ほたる放せば庭に居る　白洋
初雷の止むまで借りし端居哉　松月

悠々と水に映してとぶほたる　四樂

●顧●中●吟●　むら

去歳逝きし我兒の魂か飛ぶ螢
螢來よ此所に水あり酒もあり
脫ぎ捨し羽織に光るほたる哉
突つ張りし棹に亂るゝ螢哉
三匹のほたるに暑き夜なり飛

（新）（刊）（紹）（介）

▲特許公報　發明種類十一「田所式改良製繩機」「田所式製繩機械」「婦人雨外套」「龍山式貯水器」等は其の重なるものなり（十三號十五號京城本町三丁目日韓書房發賣）

▲月報　「貨幣」「預金」「貸出金」「爲替受拂」「韓國國庫」「日本金庫」「各地金融概況」の七節に分ち更に附錄として各地の經濟狀況を掲ぐ（四十六號第一銀行韓國總支店編纂）

▲貿易月報　「貿易」「貿易關係事項」「稅關報告」の三章に分ち附錄として「商業上より見たる韓國に於ける外國人就中日本人と韓國人との關係」を掲ぐ（十一號稅關編纂）

中山大納言

第十四席　桃川燕玉演

そこで一つ橋家に附いて居りまする役人、又此君に取入る輩、此御方を西丸へ直し、つまり自分達も出世の手蔓にしやうと云ふ其等の面々が內實京都へ此段を申入れましたるから、京都でも固より充分事は成ることゝ思召し、そこで禁中に於て此度御詮議られまする、寛政の四年三月十一日清涼殿に主上南面して御簾の中に出御あらせられまする、山鳩色の裝束、金古地の御冠、玉座の次に一位大典侍局耕の御袴、中段に控へさせ給ふ、其次には天下の四親王と申上げる閑院宮典仁親王、有栖川宮幸常親王、伏見宮行友親王、桂宮利仁親王、其外京極宮、山階宮、中川宮、下段左の方は鷹司關白、前左大臣藤原資平公、右の方は近衛殿、續いて九條殿、二條殿、一條殿、精華衆には久我大納言、三條大納言、廣幡大納言、今出川大納言、大炊御門、西園寺大納言、德大寺大納言、華山院大納言、醍醐中將、此方々を御家族方と申し、續いて神祇伯吉田宰相、浪華中納言、飛鳥井中將、御歌所柴山宰相、高倉左大臣、高辻權中納言、久我宰相、柳原大納言、正親町大納言、萬里小路大納言、姉小路大納言、百位百官月卿雲客、一統の御方が御着坐に相成りまして、此時に白綾の直垂を着し、紫大八ツ藤の指貫、白杜若指貫の石帶、二枚をさの冠を戴き、本紫の纓を掛けまして、席を進んで御發言を遊ばしたのが中山大納言愛親卿「今般大內裏御造營に付、松平越中上京仕り其節一應申出置候も、今以て關東より其返辭を申上げず候へども、固より太上天皇御尊號の儀は上御孝心より出る所速に所司代太田備中へ御沙汰あらせられ關東へ此段御申出然るべく」と是より中山殿の言葉に就いて公卿方が種々意見を申上げました。尤も是は巨細に申上げますと管〻しうございますから大畧をして申上げますが、孝と云ふ一字は誠に重い事だ、不孝と云ふことも亦重いから、三千の罪不孝より大なるはなしと云ふ、已に孝謙天皇の御宇に孝經といふ書物を民家へ一本つゝ御渡しになつたと云ふ位、此度主上御實父閑院宮樣へ太上天皇の尊號を上つりまするといふ是れ孝道の一點にある、已に先例がある岡宮天皇、春日宮天皇、崇道盡敬皇帝の諡例があるが、是等は皆御追諡と云つて後で諡つて、御生前の事ではない、所が例一條院は長和の五年正月太子に立たせられまして、寛仁の元年八月其位を辭されましたるから、即日院號を上つりました、即ち生前に院號を稱させたまふ初でございます然るに承久の亂に北條氏の計らひを以て高倉天皇の御孫茂仁親王を御選み申し御位に即かせ奉る、人皇八十六代後堀川天皇と申上げ奉るは此君、依て天皇の御實父守貞親王の御出家を遊ばし持明院と申し給へるを太上法皇の尊號を上つた、後高倉院と稱し奉る、之を承久の例と申します。其次に稱光天皇の崩御に方つて御繼体の皇子が在さざるに依つて、崇光院の御曾孫彥仁親王を位に即け奉る、人皇百一代後花園天皇の御事で、依て天皇の御實父貞成親王に太上天皇の尊號を奉つて後崇光院と稱し奉る、之を文安の例と申しますが、其中に文安の御例は最も今日の場合に適當をして居る、此例に依らせられて速に閑院の宮へ太上天皇の尊號を上つて然るべしと、中山卿を始め言上をした、と時の關白資平卿を始め反對を唱へます御方は、どうも天皇の大位に即かせ給はざる御方に、天子の御實父なればとて太上天皇の尊號を上つることは、宗統に於て嫌疑の誘なきにあらず、人倫の憫を以て名義の正しきを紊る魔之あらんかと云ふ反對説が出ましたが、是は誠に少數だからどう〳〵消れた。時に關白資平卿はどうも此反對派でございまするし、且は今迄叡慮に適はざる所があると云ふので、當日關白勅免と云ふことになりました、是れ前方徳川幕府の諸役人から賄賂を取つたと云ふ疑がある、されば其時の落首に「くま鷹か掴みちらした科なれや、も〻を裂かれて逃ける不憫さ」と云ふ惡口が立ちました。そこで近衛殿が關白職に成らせられまして、京都所司代、前の松平和泉守は內裏造營の功勞に依つて江戸表へ立歸つて老中に出まして、只今は太田備中守といふ方が京都所司代だ、此御方に對してボーンと御沙汰になる。

京城新報

韓銀創立委員

韓國銀行創立委員の任命近きにあり、其數は委員長一名、委員三十四名にして内韓人二名を加へ他は韓國政府統監府大藏省等の官吏及び東京横濱大坂神戸等の有力なる實業家より撰出せらるべしと報道せらる、然らば韓國に移住せる所の邦人中よりは創立委員を選出せざることに決したるものか、果して此等の報道が眞なりとすれば大なる誤りと云はざる可らず、若し夫れ在住邦人の中より創立委員を選出せざるに於ては在住邦人を無視するに止らず、先驅以て艱難を嘗め韓國に於ける帝國の優越權を得るに至りし多大の功勞を無視すると同一也、功勞を無視する尚可也、然れども之が爲に銀行其者の不利益となるに至りては忍ぶ可らず、韓國の事情に通せざるものを幾人擧るとも韓國に就て恰當なる知識は得可らず、如何に祖國の實業界に有力なるものと雖も韓國の眞情に通せざれば適當の考慮は浮び來らず、如何に理財の道に長け居ると雖も其國の狀態を詳にせざれば之を施すによしなし世に報道せらるゝ創立委員の顏觸を見るに於て余輩は深く此杞憂を抱かざるを得ざる也、見ずや東洋拓殖會社の狀態を、其事業を經營する恰も暗夜に物を探るが如く徒に煩勞するのみにして更に其實蹟擧らず其緩漫迂濶なる世人をして切齒に堪へざらしむ、若し東拓會社創立當時に在住邦人中相當の資格あるものを創立委員となしたらむには今日の如き失態を招かざるべし、東拓會社が今日の苦境に在ることは少しく韓國の事情に通じ居るものならば何人と雖も豫知し得べき事也、當時余輩は在住邦人中相當の資格あるものを創立委員に擧げよと苦言を呈したるも、當局者は頑として之に傾聽せざりき、爲に今日の如き失態を招くに至りし也、然るに當局者は此惡轍を眼前に見ながら韓國銀行創立委員の選出にも在住邦人を除かんとするか、果して之が事實なりとすれば銀行其者の不利益にして其影響の及ぼす所決して少しとせざる也、當局者が在住邦人に對して東洋流の「民をして依らしむ可し知らしむ可らず」との專制的態度を取るは決して策の得たるものに非ず須く虚心坦懷に考量せば其誤れることを容易に知り得べき也。

余輩は此等の報道が眞ならずして創立委員には在住邦人をも加るに至らむことを希望するもの也、而して單に創立委員を擧るのみならず、其株式も在住邦人より可及的多く募集するの方針を取らざる可らず、當局者たるもの宜しく東拓の前轍に鑑み能く利害を考慮して在住邦人中相當の資格あるものを創立委員に擧ぐ可きことを勸告するもの也。

東京電報

▲吉長問題解決 吉長線問題は收入金を滿洲の我正金銀行支店に預け利子は支那の主張通りとして調印を終りたり

▲韓太子の出發 韓太子には一日午前伊藤輔育總裁と同道上野發にて水戸に向はせらる停車場には皇族殿下を始め官民數百名見送りたり

▲韓太子の水戸着 韓太子殿下の一行は一日夜水戸に到着官民の歡迎頗る盛んなり

▲司法官任命 司法官試補廿五名韓國に事務習修すべく任命せらる

雜報

●帝室財産引繼額 本期間に於て宮内府より度支部に引繼ける帝室有不動産は山林三十四件草秣六件原野二件田畑八件宅地十六家屋七十四件也と

●韓國創立委員 既報の如く韓銀創立委員の總數は三十四名（内韓人二名）にして官吏以外は東京、大坂京都、名古屋、横濱、神戸六市の實業家より撰任する筈にて目下當局より内交渉中に屬し居れるが民間實業家は多分左記の諸氏入選し委員長は澁澤男任命せらるべしと取沙汰す

（東京）澁澤榮一、松尾臣善、高橋是清、高橋新吉、添田壽一、豊川良平、早川千吉郎、園田孝吉、池田謙三、佐々木勇之助、安田善次郎、濱口吉右衛門、村井吉兵衛、大倉喜八郎
（大阪）小山健三、町田忠治、志立鐵太郎、岩下清周、藤田英太郎、田中市兵衛、廣田順三郎
（京都）田中源太郎
（名古屋）奥田正香、神野金之助
（横濱）大谷嘉兵衛、原富太郎
（神戸）松方幸次郎、岸本豐太郎
（韓國）荒井次官、兒玉伯、東拓理事韓相龍、漢湖農工銀行長白完爀

●兩審査會の開會 法令審査會及地方資格審査會は近々の内開催さるべしと

●要塞内の未墾地 從來要塞地内の未墾地は外國人に貸下を許可せざりしが農商工部は要塞地司令官と協議の上許可することに決議したりと云ふ

●地方財産の調査 地方費法に依り觀察使の監督すべき財産は地方長官之を撰定し内部及び度支部の認可を受くることとなり居れるが地方長官は歸任早々郡守及面長等に命じ目下調査中なり

●各國領事の會議 在京城の各國領事は過日司法權委任覺書交換以來再三會議を開き何事か協議し東京大使館に向つて打電する所ありたりと

●韓銀創立委員會 韓國銀行創立委員會は愈々來る十日東京に於て開催する事に決定せるを以て荒井度支部次官は五日當地發東上の途に就く由尙兒玉伯は數日遲れて東上すべしと

●瓦斯會社の拂込 日韓瓦斯電氣株式會社にては韓美電鐵買收の結果第二回拂込を決行する筈なるが一株十二圓五十錢拂込期日は八月十六日迄にて取扱銀行は第一、第廿七、興國、長濱、浪速、百三十、十八、大韓、天一等なりと

●出稼韓人の盛況 近來在哇米國等に出稼する韓人の送金は漸次増加の傾きあり昨年四月より本年三月末迄外國側振出しの郵便爲替拂渡し金額は貳萬二千三百五十余圓なるが其主なるものは右出稼人等の送金なりと

●電信不通回復 大坂の火災の爲め卅一日午后八時より二日午前十一時迄大坂通過の電報は全く不通となりたるが二日十一時以后全部復舊せり併し二日間蓄積したれば今明日中には多少遲着は免れざるべしと

●武官學校の解散 武官學校が官制改正の結果廢止さるべきことは既報の如くなるが二日午前九時同校に於て同校長陸軍參將李熙斗氏は韓皇の意を傳へて解散式を擧げたるが其際同校生徒四十五名の内四十四名は打連れ日本留學を申込みたりと

●三角航路問題 元山、敦賀、淸津の三角航路開始に就ては統監府に於ても是非實行したしとの希望にて近く小林遞信參事官淸津元山を視察したる上具体的の案を立つる方針なりと而して右航路の補助に關しては之を統監府より支出するか又遞信省より直接支出すべきかに就ては未だ決定し居らず何れ議會開會前に協定すべしと

●郵便爲替の激増 日、韓、滿、臺灣に亘る韓國郵便局の爲替振出し額は一昨年四月より昨年三月末迄滿一ヶ年の二百六十一万八千二百七十五圓に比し昨年四月より本年三月末日に亘る同期間の金額は四百二十六萬二千九百八圓の劇増にして六割三分弱を増加せりと序に同拂渡に於ては同上九十七萬二千四十一圓に對し本年分百〇五万千五百十六圓餘即ち八分強の増加なりといふ

●水産局明年度事業 農商工部水産局にては目下明年度の事業計畫に對し豫算相談會を催し居れりと

●滿韓鐵道問題 韓國鐵道を日本の鐵道院に合併し又は滿洲鐵道會社に合併すべしとの說あり今又中村滿鐵總裁の東上によりて東京よりは頻々として滿鐵合併說を報道し居れるが今其眞相を聞くに韓國鐵道を滿鐵に合併し滿韓鐵道株式會社を設立する事は虛說の由なるが然し我政府にては韓國鐵道の所屬を鐵道院に移し而して韓國鐵道全部の經營を滿鐵會社に委任したき議あり統監府にも交涉ありたる由なるが統監府に於ても要は京元、平南、湖南の新鐵道の敷設を決行すれば足る所屬問題の如きは敢て彼れ是れ爭ふの必要なしとの回答を爲したる由なれば多分右は近く事實となつて顯はるべし尙前記三線の工事豫算は大略編成を終了したりと

●國有地の調査 韓國政府にては驛屯土及他國有土地の實地調査を手初とし本年度に於て右經費金十三萬二千六百圓を追加豫算として支出し各財務局に調査員を隷屬せしめ既に一部の調査は結了したる由なるが全部終了迄には約一ヶ年を要する見込なりといふ尙ほ一般土地調査に關しても本年二月以降其の下準備として大体の方針を定め各道に部員を派遣し一方地方官衙に就て舊來の慣例を調査する等着々歩を進めつゝありさの事なるが先づ京城内を手始として實地調査を行ひ他日全土調査の規典に資せん覺悟なりといふ

●群山の人工降雨 群山地方の稅務狀況視察を了へて去月三十一日歸任したる度支部事務官平野與次氏の談話に依れば同地方面は植付僅に二歩通りを了へしのみにて而かも植付濟のものは何れも枯死し居れる由なるが此模樣よりすれば半作にも及ばざる有樣にして先日三百五十圓を投じて人工降雨を企てたるに約一時間程降雨ありたり云々と

●關牌の管理方法 從來各郡にては郡神として關牌なるものを客舍に祀りつゝあるが近時客舍の腐朽するもの頗る多きも修繕費なきため其儘に放擲し置けるが地方人民の關牌に對する信仰心頗る厚きを以て地方官は關牌を宮内府に移し客舍を他に利用せんと望み居れりといふ

●烟草栽培試驗場 財源調査局に於て烟草栽培研究の爲めには多大の注意を拂ひ居れるが主なる試育場は大邱に於ける約二千坪の試場にして種子は韓產は勿論日本種には國分、水戶、茂木達磨、秦野、松川の良種を選び尙はホンジユニス、ヘスクー、エルローオロノコ、エルロープライオルの四種米國產等なり又目下設備中の試作地は太田の三千坪にして茲數年の後は改良に於て著しき發展を見るに至るへしと

●龍山民團委員會 過日の民會にて委員附托となりし日韓瓦斯道路使用に關する件去月卅日委員會にて議了し二日修正の上發表したりと

●北韓道路の幅員 淸津より會寧に通ずる道路築造のことは曾て報じたる如くなるが其道幅に就き軍事に通ずる某會社重役は二間一尺とせば可なるべしとの意見を唱へ統監も之に賛同したるを以て同幅員にて着手すべく內定し居る由なるが同地方は八九頭立ての支那馬車の往來頻繁なるが故或は狹隘に失する恐れなきやとの說もありと

●京商臨時總會開會 京城商業會議所にては卅一日午後四時より臨時議員總會を開き特別議員を置く事を決議し左の三氏を特別議員に推選したり

東洋拓殖會社理事 林市藏
第百三十銀行支店長 菅原大太郎
三井物產會社出張所長 淺野長七

次て別項戶叶書記長辭任につき慰勞金贈與の件を決議し午後七時散會したりと

●中村會頭の招宴 既報の如く京城日本人商業會議所會頭中村再造氏は去る卅一日午後六時より花月に於て一夕の宴を張られたるが來會者は會議所議員同所員及び新聞記者等にして最初中村會頭の挨拶に次で曾我副會頭の答辭あり終つて戶叶書記長の告別の辭あり更に峰岸氏の會議所定款變更及組織擴張を希望する旨の演說あり後宴に移りたるが主客十二分の歡を盡して散會せしは十時過ぎなりき

●各銀行會社上半期概況（其二）

大韓天一銀行 支配人 遠山熙

資本金 五十萬圓
政府無利子貸下金 二十万圓
積立金 八萬圓
利益配當 年一割
預金現在 五十余萬圓
貸出金現在 七十萬圓余

上半期營業景況

遠山氏の支配人となるや銳意行務を整理し同時に積極的方針を取り業務の擴張を計りたるの結果經濟界の不振にも拘らず前任者時代の不振を挽回したるが如し利益配當は例により年一割となせるも上半期の利益金は實に三萬七千六百圓也之を十二圓五十錢拂込の株に配當すれば六割の高率となる預金の如きも上半期の初頭に於ては僅に十二三萬圓に過ぎざりしも漸次增加して五十余萬圓に達す之れ熱心勸誘したる結果也と當事者は云ふ、貸出金は韓人は保證手形日本人は商業手形多し不動產の擔保は比較的少しと云ふ新支配人の貸出金に對する方針は不動產の擔保よりも保證手形商業手形を專らとする所謂人物の信用に重きを置くと云ふ貸出金は韓人と日本人とは相半ばし預金に至りては韓人よりも日本人が稍多し貸付日步三錢より五錢迄預金は一錢二厘小口預金は一錢六厘出張所は南大門と麻浦とにあり今や其交涉中仁川に支店設置の計畫ありと云ふ

●滿洲銀行と滿鐵 滿洲銀行設立問題に付き大藏省は各方面の材料を蒐集し研究を重ねたる結果、大体設置の必要なしと云ふに內定したるを以て南滿鐵道側の希望を滿足せしめんには勢ひ同社に對する命令書及其定款を改正し滿鐵をして金融機關を兼營せしむるの外途なしと

●密漁船取締勵行 關稅局にては沿海密漁船の取締勵行に關する施設方法を確定し夫々稅關に命令を發したるが即ち海上に於ては光濟號を巡航せしむる外仁川及鎭南浦に監視基地、龍岩浦は鎭南浦基地の分所を置き仁川にては櫻井丸鎭南浦にては鎭洋丸の外尙各基地に石油發動機船數隻を配屬せしめ名船に砲及銃器を備付け漁業季節中絕えず沿海を巡邏せしめつゝある一方には日本海軍水雷艇隊は之に應援の爲め既に出動を開始し互に氣脈を通じつゝ密漁船の掃蕩に從事し尙禁を犯して出漁するものに對しては漁獲物の沒收と漁撈設備の破棄は勿論漁具漁船をも沒收し漁船乘組員は其國領事に引渡し相當の處分を爲し着々實行し居れるを以て既報の如き成績を示すに至りしものなりと云ふ

●天一銀行株主總會 大韓天一銀行にては去る廿九日午後四時より第三季株主總會を同行樓上に開會したるが出席株主委任とも百卅五名此株數七千〇廿五株にして銀行長金基永開會の挨拶を述べ次で遠山支配人は逐一半季間の營業狀態を說明し終りて滿場一致を以て左記の配當案を議決し夫れより臨時總會に移り重役の改撰を行ひたるが其結果左の如し

取締役	六、二二五	洪忠鉉
同	五、二八五	尹晶錫
同	四、七六七	李鳳來
同	三、七七五	金時鉉
監査役	四、四五二	金基宅

本季純益金三萬七千六百五十五圓三十五錢

此配當
法定積立金、金一千圓
別途積立金、金五千圓
重役賞與金、金二千五百七十五圓
配當金（年一割） 金一万四千圓
後期推移金 金一萬三千六百八十圓卅五錢

●各銀行の配當金

度支部所管の韓國各銀行本年度上半季の株主總會は先月十七日より同二十九日までに全部終了したるが其配當金左の如し

一割五分漢城銀行、一割五分共同倉庫會社、一割咸鏡農工銀行、一割韓一銀行、一割二分平安農工銀行、一割二分慶州農工銀行、一割二分全州農工銀行、一割二分光州農工銀行、一割二分漢湖農工銀行

●龍山小學校竣成 九月末日引渡しの契約なりし同校は期日より早く竣工し附屬工事一切を八月二日に引渡を了りたる由

●大韓日報の移轉 大韓日報は從來の家屋狹隘なる爲め明四日西小門通り伊太利領事館の隣家なる煉瓦家屋に移轉の筈なるが準備の爲同日より四日間休刊すべしと

●農商工部員の舟遊會 農商工部員約十餘名は去る一日仁川觀測所長和田雄次氏以下十餘名と共に仁川沖合に舟遊會を催したり

●鶴岡生田兩書記官 鶴岡、生田書記官の兩氏は暑中休暇に際したるを以て先日來々京の木內次官令息二名及び從兄弟木內工學士と共に一日朝東上の途に就きたる由

●新幕居留民運動 瑞興郡內新幕居留民は郡衙及警察署を同地へ移轉する件に就き協議會を開き委員を定めて目下其筋へ運動中なり

●判檢事の任命

判事羽生慶三郎 補平壤地方裁判所判事（六級）
判事近藤壯吉 補義州區裁判所判事（六級）
檢事高村悅藏 補仁川區裁判所檢事（七級）

公人私人

▲森元俊之助（水原林業事務所長） 卅一日入京佐藤へ
▲岡田時太郎（關東都督府技師） 同日入京天眞樓
▲藤井新次郎（元山稅關鑑定官補） 三日月に投宿中一日歸元
▲山田義太（農銀博川支店主任） 不知火に投宿中同日歸川
▲西川廉五郎（釜山稅關檢査課長） 同日歸釜
▲鎌田裕（判事） 佐藤へ投宿中同日日本へ
▲工藤勇治（太田居留民總代） 一日入京不知火
▲早川省三（農銀平壤支店主任） 同上
▲小森元熙（大坂鑄物購買組台理事長） 同日入京浦尾へ

近事片々

▲間島の現狀尙暗憺淸國官民の横暴甚だしとの說あり果して事實ならば膺懲すべし
▲淸國人は弱味に付込む惡癖あり無制限の讓步は益々我を侮るに至らむ戒愼を要す
▲我の謙讓を善意に解し其德を感ずる國民に對し讓步するはよし然らずは其效なし
▲未拂金問題未だ落着せぬか醜惡暴露の恐れある大官連不服の申請を爲すとは異か
▲風說に依れば現閣員中に此等不服の申請を爲すものありと云ふ事實ならば不埒也
▲現今の韓國政府に取りては四百萬圓の未拂金は大金也情實を捨てゝ須く嚴行せよ
▲醜惡あらば何人にてもドシく暴露して可也臭きものに蓋するの手段は全然不可
▲官吏增俸は三割上下兩院議員は五百圓增との說あるが大頭侯愈々之を實行するか
▲太郎宰相此增俸にて一は官僚の歡心を買ひ一は政黨者流を籠絡せしむるの手段か
▲官吏の增俸は可也然れど先決問題として冗員及無能官吏の淘汰を爲さゝる可らず
▲議員の歲費增加も亦可されど先づ醜陋なる代議士を檢擧して罰せざる可らざる也
▲香港のチヤイノールは今回の日韓協約は日本の好意にて韓人の幸福を增進せんと
▲之れ能く我意を得たるもの眞に日本の好意也全く韓人指導啓發の爲になせるもの
▲南阿合併案は滿場一致にて可決し國會開會式には英國皇太子の臨御を奏請せりと
▲合同は今世紀の大勢大英雄は能く此大勢を利導して大業を上ぐ宍美墓の外あらず
▲セシルローズを地下より起して韓國の事を處理せしめば如何に之を解決すべきか
▲西班牙ムール征伐に大敗す國民の政府反對は極點に達す首相陸相辭意を決せりと
▲實力なく國民の聲援なくして無暴の役を起せば此通り速に國本を改良するが肝要
▲現世紀は飛行器時代也各國に發明あり我當局も大に悟る所有て補助を與ふべしと
▲和歌山の川村某氏に癩病菌を發見す五十疋に二疋の割合鼠は眞に恐るべき動物也

改良所より出火し七百戸燒失す（二日發）

命親衛府附
砲兵參領　朴斗榮
三等軍醫長　金益南
三等司計　鄭斗源

補侍從武官　同　康鶴植
近衛步兵大隊長　陸軍步兵副領　王瑜植

補近衛騎兵隊長　陸軍騎兵參領　朴榮吉
同　步兵正尉　金泰元
同　張寬根

命本國駐箚日本憲兵隊派遣　同　步兵參尉　朴東元
同　李秉喬
其他副領以下三十八名を豫備役に編入されたり

●大阪の大火詳報

▲二日間の燒通し　去月卅一日午前四時三十分大阪北區空心町二丁目玉丸メリヤス呉服店より出火折柄の東の烈風に煽られ火勢は西南方に延び松ケ枝町、神保町、岩井町、河内町、此花町を燒盡して天神裏通りを燒き拂ひ老松町、若松町に燒延し大阪目拔の場所たる堂島一圓を燒き更に西方に向ひて堂島濱通りに至り堂島米穀取引所、北濱銀行支店、桑原鑛業事務所、阿部彦商店、控訴院長官邸、藤田組（目下大規模なる建築中）市立大阪高等商業學校、府立大阪一等測候所、大阪商業會議所、府立大阪商品陳列所、高崎府知事官邸、府立堂島高等女學校其他紳士縉商の邸宅店舖等殘らず烏有に歸し尚梅田停車場は一時危險に瀕せしため交通杜絶の姿となり櫻橋筋の電車は交通遮斷せられたり

▲軍隊の出動　步兵第卅七聯隊は其全部を現場に派して第一回に堀川、第二回に梅田新道に於て人家を破壞し消防に全力を注ぎたるも火勢は猛烈にして寸效なきを以て土屋第四師團長は更に高槻工兵第四大隊の出動を急命して大仕掛けの消防を爲たり

▲回生病院燒失　大韓醫院長菊池博士の設立せる同博士理想の病院とも稱すべき回生病院は非常なる大規模の建築なりしも今回の火災にて遂に烏有に歸せり而して同院には多數の患者入院し居たるが失火の當時頗る危險なりしを以て患者一同を大坂ホテルに立退かしめたるが更に火勢劇しくホテルの對岸北區警察署を燒盡して火の手は左しもの大河を越へ同ホテルをも燃燒せんとする氣勢を示したるより更に危險を感じ患者を再び階行社に收容したるが一同何れも異狀なしと

▲菊池博士上坂　別項回生病院が烏有に歸したるに依り菊池同院長は一昨一日夜上坂したり

▲鎭火と損害　軍隊及び消防隊は全力を擧げて消防に盡力したる結果一昨一日午後五時遂に鎭火したり而して其燒失家屋及損害高は目下取調中なり

▲通信機關杜絶　大坂への電報は官報を除くの外一時杜絶せり

▲大阪大火後報

東京電報

大阪大火は二十六時間に亘りて猛威を極め燒失戸數三千損害見積額九千万圓にして大坂控訴院、地方裁判所、商業會議所、商品陳列所、米穀取引所、堂島高等女學校、高等商業學校にして死傷又多數慘狀を極む

●主人の金にて女郎買

▲三人男の身元判明　仁川市中を一昨日前より怪しき三人連れの男徘徊するとの事に仁川署の坂下今井石川三刑事が聞込みたれば市内各旅館につき取調べたるも一向其らしき者なきより或は風聲鶴唳にあらざるかと尚も注意し居たる折柄花町二丁目堀力の借家に怪しの男三人一家を構ね居ることを探知したれば再昨夜同所附近を徘徊して樣子を搜り居るとは神ならぬ身三人の男は露知らず夜の十二時頃一人宛敷島の方に行くより刑事は其の跡につけ行くに二人は敷島支店に今一人は朝日樓に登樓したれば直に内々取調を開始したる所朝日樓に登りたる男は大阪市鳥井久吉方の店員にして地方集金係を勤むる長谷川吉太郎（三十）と云ふものにて敷島支店に登りたるものは長谷川の友人辛島曾津彥（三十）及び長崎市松尾某と云ふ二人なるが金の使ひ方其他よりも察するに普通の奴にあらずと目星を付け翌朝前記三名を引致取調べたる所松尾なるものは船中の道連れなるが長谷川は大阪鳥井方の集金百八十余圓を拐帶し辛島と同行渡仁し仁川にて相場をなさん計畫なりしこと判明したれば松尾のみは一先づ放還し二人は未だ余罪ある見込にて目下嚴重取調中

●淫賣に振られて告訴

▲京城第一の大馬鹿者　大和町一丁目居住大工姬野忠一郎方姬野政一は二三日前の夜同町内某料理店に至り豫て馴染の淫賣婦に同衾を申込みたるを先方にては他に來客ありし爲め体能く斷りたるを口惜しがり直ぐ其足に巡査交番所へ至り只今某酌婦は淫賣を爲し居れば何卒御取調べ下さい若し御差支へならば拙者直々取押へ參るべしとの事に警官も不審に思ひ能く取調べたる處前記の如く全く己れが振られたるを無念に思ひ斯かる馬鹿な訴へを爲したる事判明し散々叱り飛ばされて引下る

●深夜の同志打

本町一丁目裏通り氷販賣業松田武治太（三十）岡川辰次郎（四十）の兩人は一昨日午前三時半頃南大門裏通り飲食店京野橋五郎方を呼起し一盃飲ませと乞いたるも深夜なればと斷りたるに憤慨しグヅ〳〵言ふ中兩人同志打ち初めしかば京野も中に這入り三人入交りて立廻りを演じ居る處へ巡査出張して松田川床兩人を南部署に同行し翌朝迄留め置き說諭を加へて放還す

●會社員の亂暴

新町三丁目六十八番戸帝國生命保險會社員林河造（四十）は去る一日午前二時五十分頃本町一丁目裏に至り蝎甫屋に行かんとて同所に居合はした韓人金明鉉（三十）を捕へ道案内を賴みたるも金の應せざる爲め大に立腹し果ては互に喧嘩を爲し居たるを巡査出張して南部署に引致し說諭の上放還

紳士の遊興振

▲小田柿捨次郎君　三井物產會社參事長の君は昨年五月土地の紳士として籍から脫したので君がある併君が過去數年間に涉る經歷と君が有せる交遊とは今回の來京を機として本欄より逸せしめぬ理由があるのだ、君の經歷や逸話は今更茲に記せずとも既に世人の知る處である而して君の遊興振も所謂小田柿式と言つて其道の人々は能く知つて居る筈だが未知の人には聊か後學にもと茲に紹介する次第である、記者の聞く處に依れば君には京城花柳界の虛無黨と云ふ綽名があるそうで其理由を聞けば君の樓上に於ける一擧一動が總べて破壞的で又暗殺的であるからだそうな、君好んで日本酒の熱燗を煽り其凹んだ眼から水蒸氣濛々として立昇り眼鏡は曇つて先きが見へぬと云ふ段になると一種の聲……即ち虛無黨員の怒聲とも聞ゆる一種の變聲を發して例の傳兵衛の中の『ちりや聞へませぬ傳兵衛さん』を唸る御當人の耳にはさも面白そうに聞へる樣だが他人の耳には他人だけに甚だ不公平に聞へるのである今は廢業して某待合の女將となれる前の拘留の紋次は君の發音に就て數年間研究したる結果其妙音が石油の空鑵を爪先で搔くと同樣なる事を發見したそうだ、其れ以來君は紋次に依つてブリキと云ふ稱號を授けられ而かも東京移住の後も君はブリキを以て新柳二橋の巷に通用して居るそうである思ふに君が昨春雷風の法螺貝陣太鼓で南大門を送り出されてより我京城の花柳界は聊か優美となり高尙となつて小康を保ち來たりしに圖らずも君が今回御入來の爲め例令暫時なりともブリキを叩かれて樓上の平和を攪亂せられたのは記者の憤慨に堪へざる所である。

次は岩崎仁川民長

●マクワ瓜の祟

仁川花町二丁目八力車夫澤田虎次郎（五十）と云ふは去る二十一日午後マクワ瓜を多量に食し赤痢病に罹りたれば警官は同長屋八戸に交通遮斷の旨を命し大々的の消毒をなしたるが時節柄各自注意すべきことどもなり

●不安の水害一件

平北江界郡にては去月二十七日の大雨の爲め郡内の某山崩壞し人畜に死傷あり目下取調中又平南成川

して會社門內黃金町一番戶の六へ住はせ宿呼び寄せたが此の頃は以前明治町で淫賣をして居つた松山生れの本岡京と云ふを落籍

平民文庫

▲太平町長谷川町西小門通り北米倉町本町一二丁目明治町邊を總括んで淫賣業の創始者は例の太平町の田舍家なり（報告子）▲東拓會社の總秘書役長の腰巾着小使は元來理髮職人であつたが嬶さんのお引きで今の職に有り付いたのですそれで先月內地より家內を

●食道樂の開業

壽町二丁目小學校運動場西側に今三日より開業する食道樂事さかへ家は間數も多く庭園も廣く且つ早朝より浴湯の準備をも爲し圍碁將棋其他の娛樂器も備へ付け殊に料理は頗る輕便安直にて精々勉强を旨とすると云へば避暑的消遊を試むるには尤も妙なるべく又各種の集合等にも都合宜しからん料理は注文に應じ仕出しをも爲す由電話は九百四十四番

●中檢藝妓の成績

前月中に於ける中檢藝妓の賣揚順左の如くにして井門の政子は相變らず第一位を占めたり

政子、都子、千太郎、八奴、政菊、秀子、於多福、丸子、梅子、大助、花奴、八重松、十九江筆子、若龍、やん茶、君子、福助、小高、三太、加代玉吉、時奴、君江、辰子、福助、一奴、れ蔦笑太郎、於茶羅、光菊、ぬい、艶子、桃太郎多美、光子、雛子、百々代、菊勇、光松、花蝶勝丸、豐子、久之助、蝶々、れ辰、筆奴、玉助、梅吉、ふく、菊之助、〻八、れ笑、太郎れ龍、十郎、三次、こま、八々、初太郎、奴（井門）力彌、富子、鳴吉、政子、小奴、江戶奴、玉奴、胡蝶、とき、玉蝶、勇次、光一、喜多八（新開業）蝶八、駒榮

●小女犬に噛まる

仁川宮町二丁目富澤周太郎方橋本ツタ（十三）と云ふは一昨日午後三時頃裏口にて用事をなし居たる折柄突然一匹の犬現はれ來りツタの手首に咬みつき出血したれば直に小倉病院に收容し一方該犬を繫留し狂犬なりやを取調中

郡にては大同江氾濫して郡內殆んど浸水被害多大なる見込なりと

演藝

▲●●歌舞伎座　彰義隊一座本日の替りは昨日の續き「琵琶歌」にして役割左の如し

三造妹里野（西井）書記澤田（川上）母親れ峰（桂木）令孃花浦菊枝（河野）荒井三造（角村）はげ新（玉川）番頭安造（中村）上等兵吉川（大和）兵士木山（間宮）父親正治（松村）あば熊、女やれ竹（小谷）西村妻れ時、侍女れ爲（小神）村の者田作（大草）武田貞治（愛澤）村の者彌作（三島）家令富永三太夫（美崎）西村禮太、江島春歷（篠崎）

▲●●京城座　二三の俳優を放逐し大に革新して內地よりも數名の俳優を迎へる筈なるが本日の替りは一番目「地獄長屋」二番目「新オセロ」にして役割左の如し

名倉仙吉（今尾）丁稚松次郎（石田）車夫吉哉（花笠）番頭佐太郎（桂）佐島屋主人與八郞（勝見）娘れ冬、室夫人鞆音（橫田）妻れさい、室鷲郎（橫山）書生奈良林進（吉野）妹れ梅（村上）書生井村寬（松村）名倉芳造（濱部）軍醫山本修、れくま（郡）雀れ勝、小間使れ宮（東）小僧吉松（綠）巡查林勤（平川）弟子万五郎、勝芳夫（瀨川）

●橫領犯人の引致

大分縣下毛郡木井村當時京城居住甲斐清太郎（四十）と云へるは豫て福田某より橫領罪の告訴を受けたる所在を晦まし居たるが去る一日午後十時南部署の長野刑事に發見引致さる

直の夜なぞは小使室へ片時居らすれ京の所へ行き巫山戲て居る彼れでもれ役は勤まるのか（耳見子）▲三十一日の晚殿方れ二方にて十一時頃御越しの御客樣座蒲團の下に一圓貨幣御遺し有之候間早速れ使ひ衆た遣し下されたもれ邸を知らせ下さればれ屆致させ候（日の出町旭壽司）▲此の頃夜散步なぞすると橫から一寸と飛び出して扇子なぞを打んだくつて自分の家へ飛び込む酌婦がある就中長谷川町のあつまやの女は猛烈だ現に僕は二三日前やられたよ（通行人）▲御容姿が宜くつて居らつしやるからでしよう（配達小僧）▲早朝或は深夜に市中を散步して見ると大抵窓や二階の戶が明け放つたまゝで居る各自御注意なきに於ては意外の災禍に罹られますよ（配達小僧）▲日曜だからとて醫師が診察を斷はるのは不都合だと思ふ病氣や傷害は日曜だつて休みはせぬと云ふことを念頭に置いて貰ひたいものだ（希望生）▲朝鮮日々の納涼會は期日を早く發表して下さい私はいの一番に申込みます、土曜日の五時頃からだと猶上等だが（への字）▲多田千春先生の時事俳評は近來トント揭らぬ樣ですが御病氣にでもれ罹りではなくつて（とん子）▲御心配下され候段同子に代りて深謝致します、併し幸に頑强いゝ〇儲けに活動寸暇も此れ無く樣に見受けられ申候匇々（係）▲パラスホテルに色の蒼白い日本人の年增女が居るが何んだらう（通行人）▲休日に酒を飲むのは損だ一日位い知らん間に過つて仕舞ふ計りか翌日は頭が痛む、病氣しに休んだ樣なものだ（小花）▲明治町の明治樓の掛け看板は不思議はないのです大臣付きの巡査の辨當を仕出すからな相です（事務知生）▲れ役所なぞは三時間位ひの執務だが若しこれを六時間に延長すれば現在員の三分の一は陶汰することが出來る更に平民流に暑中休暇なぞを短縮すればモツト減らすことが出來る（不平浪人）

マルソイド　斷新屋根材
特許　京城永樂町　藤原支店
電話壹八九番

●天氣豫報

（自二日午後六時至三日午後六時）
北西の風少雨後曇

一日（華氏）
最高溫度　九二、一
最低溫度　七二、三

廣告

自轉車大安賣
角商會代理店
前川自轉車店
京城南大門橫

●遊說團演說會　たる山川漿部は一日夜大坂より赴任したり　部長橋本部にて高義駿、苗宗錫、鄭應禹等　同團にては去る一日中　日は圓覺社にて演說會を開き鄭應禹の演說

●配達出拂
午後八時三十分

株式會社百三十銀行第二十二期營業報告

●貸借對照表

●資產　金額
諸貸出金　一四、〇九七、四八九・六七二
有價證券　四、三四七、五二六・九二〇
預ケ金　三六〇、二八四・二七〇
他店へ貸（七百二十八ケ所）　一、八九一、三三三・三八〇
未拂込資本金　一、七八一、二五〇・〇〇〇
地所建物什器　一、二六七、七五六・八五二
質物流込　三四三、〇八七・四四〇
雜勘定　二九、七〇一・五九五
金銀勘定　一、四五三、三二五・九四九
合計　二五、五七一、七五五・〇七八

○負債
諸預り金　二一、七〇四、八二一・八九〇
支拂送金爲換手形　六七、九七二・七九〇
未拂利息及既收割引料　一六四、九八八・三二〇
借入金
他店ヨリ借（千三百八十七ケ所）　六、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
資本金　一、三九三、八七六・八六五
積立金　五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
支拂未濟配當金　一、六〇〇、〇〇〇・〇〇〇
當期純益金　九八二・六六五
　七九、一二二・五四八
合計　二五、五七一、七五五・〇七八

●損益勘定
一金百三十六萬三千二百九圓六十參錢三厘　當期總益金
一金百五万一千九百十一圓六十三錢四厘　當期總損金
差引
金三十一萬一千二百九十七圓九十九錢九厘　收益超過
一金七千五百九十七圓三十一錢九厘　前期繰越損失金
一金二十二万四千五百七十八圓十三錢二厘　滯貸消却金
再差引金七萬九千百二十二圓五十四錢八厘　純益金
此配當計算左ノ如シ
金五千圓　積立金
金七千五百圓　役員賞與金及交際費
金六萬二千三百二十一圓九十一錢八厘　優先株式配當金（年八分）
金四千三百圓六十三錢　後期繰越金
右之通ニ候也
明治四十二年七月
株式會社百三十銀行
取締役頭取　安田善三郎
取締役副頭取　高橋長秋
取締役　小川爲次郎
同　井上保次郎
同　小西又助
常務取締役　富士田卯之助
取締役　森本清兵衛
韓國總支店長　菅原太郎
前記各項調査候處相違無之候也
監查役　內藤爲三郎
同　土井市兵衛
同　河村清七
同　渡邊平
監督　安田善次郎
●取締役並に監査役改選の處總て再選就任致候
●優先株式に對する配當金は七月三十日より支拂申候

● 眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せさる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

▲無料紹介欄▼

人事部

●行商人募集　石油行商人二十五歳以下身体强壯志想堅實勞働を厭はす忍耐力ある者本人來談　龍山元町三丁目韓組（三〇七）

●英文代書　通譯應需　本町一の七五中村

●商品販賣員募集　午前十時前希望者本人來談あれ　本町一、三巴酒店裏武田質店（四一〇）

●被雇度　年廿九市内に確實保證人有韓語に通す不問職業被雇たし氏名在社（四一三）

●韓語通譯　會社銀行又は商店を問はす韓語通譯に被雇たし　氏名在社（四一二）

物件部

●醫士開業向貸家あり　本町三丁目　贊化堂藥局（四一一）

廣告

迷ふ勿れ

脳病神經病者よ

赫々たる世の信認と醫學博士〇村先生の有効證明を得たる理想的脳、神經藥は獨り丹平健脳丸のみである、

脳病　●不常●逆上し通じ惡く精神鬱ぎ目かすみ耳鳴り不眠等の病症

神經　●僅かな事を案じ過ぎ夫れが爲め脳を痛め癇癪等を起す病症

頭痛　●めまひ、脳充血、脳膜炎、又婦人血の道にて逆上する病症

醫學博士〇〇〇〇先生有効證明

脳病神經治療新藥

健脳丸（けんのうぐわん）

藥價表		郵税
五週分	金貳円	十錢
三週分	壹円廿五錢	十錢
貳週分	八十五錢	六錢
壹週分	四十五錢	四錢
三日分	貳十錢	四錢
一日半分	十錢	貳錢

藥は既に並たる時に買玉へ▲全國有名藥店に取次販賣せり▲若なき時は本舗へ注文あれ直送す

其他逆上症一切に用ひて數年不治の難病を●一ケ月にて全治し頭痛逆上抔には●一日分にて根切せしむる良劑なり

健脳丸を常に持藥とせば、胃を健康にし中風卒中を未發に防ぎ、便通を心能くし身体强壯ならしむる特効あり

本舗　丹平商會

入院隨意

内外科　小兒病　梅毒淋病

京城壽町三丁目

高井醫院

電話（二一六）

院長　陸軍軍醫正　高井貞治

焦心畢志多年爲斯道難於微義奥旨恍然似有得者匪驗推臆斷臉皺茫洋辭愈淵臨素面輕蔑也

京城本町五丁目

易斷觀相教授

三一館

通信判斷一件一圓特別二圓

店舗改築ニ付破格大賣出し

各位益々御清祥奉慶賀候弊店儀兼テ特別ノ御引立ニ預リ御蔭ヲ以テ日ニ隆盛ニ赴キ從來ノ店舗ニテハ狹隘ニシテ御滿足ヲ計リ兼候ニ付今回業務擴張ノ爲メ一時休業ノ上店舗改築可仕候就テハ左記ノ通リ各位ノ御厚志ニ酬ユル爲メ特別大勉强破格大賣出し仕候間何卒御來遊多少共御買上ゲノ程奉願上候

自七月廿六日
至八月四日

正札より二割引

其他見切反物並によせ切に限り割引なし

足袋代ケ君　發賣元

京城本町四丁目

山口吳服店

電話九番

東京

本店東京

京城大和町二丁目の出橋横

正札付大安賣

厘も引なし

安心して買へ升

藤井出張店

仁川　大改良精米販賣廣告

謹啓各位愈御清穆奉賀候弊店儀多年各位の御引立を蒙り日増し隆盛之域に進み候段難有奉鳴謝候隨而今回特に原料之撰擇に力め兼て特約せる仁川奥田精米所に於て特等米を精白とし汎く江湖の御高需に應じ可申候條從來の精米と如何に其品質の佳良なるかを御試めし被下多少に不拘御用命御仰付られ度奉願上候

仁川奥田精米所特約販賣所

京城本町二丁目

米穀　石油　酒醤油木炭　卸小賣商

本田商店

電話四八番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

（電話長一〇七番）

支店開設披露

今回左記の所へ支店開設致し候に付開業披露として左の如く割引販賣候條御懇命願上候

自六月十五日　至八月十四日　六十日間

金銀懷中時計各種
掛置時計各種　一割五分引
附屬品一切

外に貴金屬附屬品に限り五分引

時計自轉車小賣部

京城本町二丁目

喜多金光堂支店

（電話架設中）

時計自轉車卸部

仁川本町三丁目

喜多金光堂本店

（電話七百五番）

中元大賣出し

漬物　味噌　醤油　製造元

京城本町五丁目

大上商店

（電話二一五一番）

和洋酒、◎精酎、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

請官衙御用品調達

營業科目

和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸染料類

各學校御用品調達

委託販賣

東京ランバーグ商會代理店

東京中外アスファルト株式會社代理店

東京千代田生命保險相互會社代理店

東京博文館發行書籍特約店

東京金港堂發行書籍特約店

釜山鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社　京城明治町二丁目　電話二三〇番

出張所　東京京橋區〇〇町二丁目十番地　電話〇〇三九六二

牛馬犬豚治療所

入院隨意

京城明治町三丁目（電話四二七番）

小川家畜病院

獸醫　小川龜太郎

店舗御望の方は造作附讓たし

移轉に付きメチャ〳〵大安賣

廿四日より當分の内壹足に付定價の一圓引

御賣は特に御相談可申上候

京城本町六丁目

富田第一支店

歐米雜貨各種

洋服毛織周衣地各種

明治町一丁目

建部商店

◎氣候變化＝牛乳

◎牛乳＝純良＝消毒

韓國畜産株式會社

南大門外（電話八八番）

卸　小賣

京城本町丁目

富士の里茶舗

電話九七九番

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院

（電話三三）

前漢城病院眼科部長　醫學得業士　江頭富雄

日本郵船株式會社

仁川濠船出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通　電話三九番

郡回漕店

電話十番

釜山長崎門司神戸行　山東丸　八月一日午後三時出

大連、太沽、牛莊行　山東丸　八月　日

高砂丸　八月五日正午時出

大連、大沽、牛莊行　山東丸　八月十七日午前四時出

大連、大沽、牛莊行　酒田丸　八月廿六日正午

釜山出帆、元山、清津、浦鹽行　立神丸　八月

御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲壹箇年一ヶ月金

●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人　秋山忠三郎

印刷人　高木久馬太

發行所　京城西部西小門通　京城新報社　電話六六三番